

部長会議

日時：令和3年2月9日（火）
午前9時30分～
場所：市役所4階 庁議室

1 市長の話

- ・いよいよ市議会が始まる。3月補正予算を含めて、事実上の15か月予算を編成した。
- ・令和2年度は「かわにし新時代始動の年」と位置付けていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく環境が変わった。
- ・一方でキャッシュレスやリモート会議、リモートワークが広まり、想像していた以上に進められたこともあった。社会の変化を見直しのきっかけにしていきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が令和3年度の大きな仕事になってくる。5万人の高齢者に短期間で2回の接種を行うため、必要な体制・チームを作って対応する。
- ・予算はあくまで、現状がこのまま続くという想定で編成しているので、今後社会情勢が変われば、変更されることも十分ありうる。すべての職員は、目の前の業務だけを行うのではなく、別の方法はないかと常に考え続けながら仕事をしてほしい。
- ・今年度の予算は、子育てと教育関係に重点的に配分している。新型コロナウイルス感染症対策の財源は国の借金によるが、これは今の子どもたちの負担になる。将来負担する人たちにあらかじめ還元するべきだという信念によるものである。
- ・新規事業や重要案件については、議会にしっかりと説明しないといけない。答弁については、十分準備をしてほしい。

2 通知及びお知らせ

（1）令和3年度施政方針及び当初予算の概要について（総合政策部）

- ・施政方針について、10日（水）に原案を、17日（水）に完成版を議会に提出します。原案は、本日中にガールーンに掲示します。
- ・令和3年度予算は、国からの地方創生臨時交付金を使うために、新型コロナウイルス対策経費は令和2年度補正予算に計上し、一体で編成しました。
- ・令和3年度は、一般会計563億円、特別会計と企業会計を合わせた総額1,103億円で予算編成を行いました。
- ・歳入は、市税収入が190億3,392万円（前年度△5億2,893万円）です。
- ・歳出は、社会保障関連経費が多く含まれる民生費の占める割合が最も高く、新型コロナウイルスワクチン接種や現市立川西病院看護師宿舍等解体の経費を計上したことにより、衛生費が大きく増加しています。
- ・市債の現在高は約764億円、基金残高は約49億円となっています。
- ・令和3年度の行財政改革の取り組みについては、令和元年度に事業再検証を実施した事業の削減分の1,922万円を新たに予算に反映させています。

- ・教育委員会は、相談機能の集約など大幅に組織を改編しています。

(2) 令和3年第1回 川西市議会(定例会)提出議案一覧について

- ・議案第19号「令和2年度川西市用地先行取得事業特別会計補正予算(第2回)」は、建設公企常任委員会に付託される予定でしたが、総務生活常任委員会に付託されます。
- ・控室に大勢の職員が待機することを防ぐため、審査の進捗状況を逐次ガルーンに掲載する予定です。
- ・議案審査や予算委員会において、課長補佐が必要に応じて委員会に出席できるように調整中です。目的は、スムーズな答弁と人材育成を行うことです。